

教育委員会だより

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

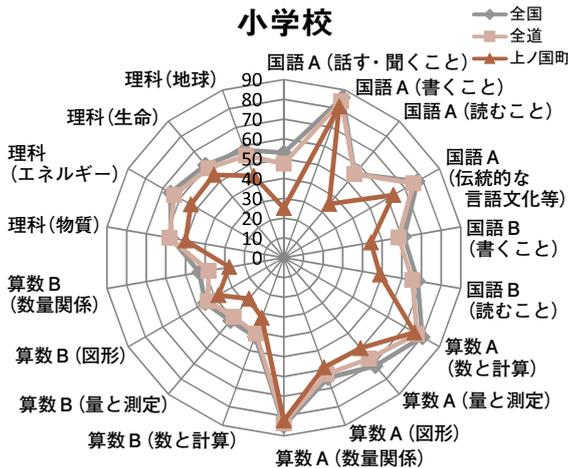
今年4月に町内の小学校6年生(48名)、中学校3年生(51名)を対象に行われた全国学力・学習状況調査結果の概要をお知らせいたします。

学力調査は小学校6年生の国語・算数・理科、中学校3年生の国語・数学・理科の各3教科、国語・算数・数学についてはA問題(基礎)・B問題(応用)に分けて行われました。

1. 調査の目的について

本調査は児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる事を目的としています。なお、本調査の結果は児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であり、教育活動の一側面である事に留意が必要です。

2. 調査結果の概要について



「小学生/国語」

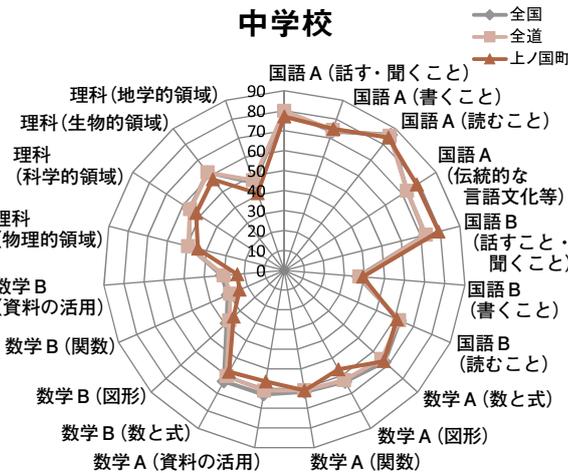
- ・ A問題では、全ての領域で全国、全道を下回っています。
- ・ B問題では、全ての領域で全国、全道を下回っています。
- ・ 文章を読み解くこと、自分の考えをまとめて書くことに課題が見られます。

「小学生/算数」

- ・ A問題では、「数と計算」「数量関係」の領域で全国、全道と同等であるが他の領域では全国、全道を下回っています。
- ・ B問題では、全ての領域で全国、全道を下回っています。
- ・ 数量の読み取りや計算の理解について筋道立てて説明することに課題が見られます。

「小学生/理科」

- ・ 全ての領域で全国、全道を下回っています。
- ・ 科学的な思考や表現、自然事象についての知識や理解に課題が見られます。



「中学生/国語」

- ・ A問題では全ての領域で全国、全道と同等か上回っています。
- ・ B問題では全ての領域で全国、全道と同等か上回っています。
- ・ 言語についての知識・理解など基礎的な内容は良くできていました。

「中学生/数学」

- ・ A問題では、「数と式」「関数」の領域で全国、全道と同等であるが、他の領域では全国、全道を下回っています。
- ・ B問題では全ての領域で全国、全道を下回っています。
- ・ 数学的な見方や考え方を数学的な表現で説明することに課題が見られます。

「中学生/理科」

- ・ 全ての領域で全国、全道を下回っています。
- ・ 科学的な思考や表現に課題が見られます。

3. 成果と課題について

- (1) 成果
- ・ 小学校では、ほとんどの児童が地域の行事に積極的に参加するなど社会参加の意識が高く、授業中ではわからない事はすぐに先生に尋ねるなど前向きに学習に取り組んでいます。
 - ・ 中学校では、家庭での勉強時間が平日で2時間以上、休日では3時間以上と答えた生徒の割合がそれぞれ5割以上、3割以上と全国、全道に比べて高くなっています。
- (2) 課題
- ・ 小学校では、自分の考えを説明したり感想文や説明文を書く事などに課題が見られます。
 - ・ テレビやDVDを1日3時間以上見ている児童生徒が小学校では4割、中学校では5割います。
 - ・ スマートフォンやインターネットを1日3時間以上している児童生徒が小学校では2割、中学校では3割います。

4. 学力向上の取組について

確かな学力を育むため、学校においては全国学力・学習状況調査等結果の分析と課題の焦点化を図り、問いと課題解決の力を育てます。また、日々の授業改善のために校内研修や各種研修を深めるなど小中連携して学力向上に取り組めます。

さらに、家庭学習の一層の充実も求められていますが、家庭でのテレビやゲーム、インターネットの時間が長く、家庭学習の時間が短いなど学校が進める家庭学習のあり方について、保護者と協力しながら机に向かう習慣を身につけさせる事など、学習習慣の確立を図って行きたいと思っておりますので保護者皆様のご協力をお願いします。

